

埼玉県鴻巣市立吹上北中学校



コ ス

モ ス

秋

桜



学校だより 第4号

学校教育目標 夢に向かって学び鍛える心豊かな生徒 ―夢・学・恕― 令和元年7月1日発行

〒369-0112 鴻巣市鎌塚550 tel : 048-548-0081 fax : 048-437-1471

ホームページ <http://fukiagekita-j.konosu.de.jp/> E-mail : fukiagekita-j@city.konosu.ne.jp

「お陰様の心」と「おふくろさんの心」

校長 関根 茂夫

「お元気ですか」―「はい、お陰様で・・・」

日本では、昔からこうした挨拶を大切にしてきました。「お陰様」という言葉には、次のような説があります。昔、旅人が暑い夏の日差しをしのぐために木の陰で休んだり、また、雨や風、雪を防ぐため木の陰で雨宿りをしたりしました。その木の陰に「お」をつけて丁寧に「お陰」、さらに「様」をつけて敬う心を込めて「お陰様」。そこには「お陰様」で旅を続けることができましたと感謝する気持ちが込められています。

木は旅人のために枝を張り、葉を生い茂らせていたのではありません。木はただ精一杯、木として生きているだけです、木のお陰で旅を続けることができたのだと昔の人は考えたわけです。

木が精一杯枝を張るように、体育祭や学校総合班大会で見た皆さんの本気の姿は、ご覧いただいた保護者をはじめ、多くの方々に大きな感動ととびっきりの元気を与えたことでしょう。

皆さんは、他人に喜んでもらうために精一杯頑張ったわけではありませんが、結果として自分たちの頑張りがたくさんの人たちに喜びと感動を届けることになりました。吹北中生ひとりひとりにとっても、強い励みと深い自信につながったと思います。そして、自分たちも多くの人たちに励まされ、支えられているという「お陰様」の心に気づいたことと思います。

昭和を代表する歌謡曲に「おふくろさん」という名曲があります。

♪おふくろさんよ おふくろさん空を見上げりゃ 空にある

雨の降る日は 傘になり お前もいつかは 世の中の傘になれよと 教えてくれた

あなたの あなたの真実 忘れはしない。♪

特に3年生は、これまで当たり前にあった（日常生活のルーティンであった）部活動の時間がなくなり、徐々に受験生としての時間を送る人が多くなってくると思います。

「受験」は部活動と違って、チームとしてよりも、個人での闘い・・・と思われがちですが、それは違います。同じように受験に直面している友だちの存在、時には煩いことを言いつつもとっても心配し、力になってくれる家族の存在・・・

日々の生活でも人は一人で生きているのではなく、どこかで誰かに支えられているという「お陰様の心」、いつかは誰かを支える存在になるという「おふくろさんの心」をもって、優しく、そして強く生きていきましょう。



6月の行事より



◆保健学校総合体育大会激励集会 伝統の応援でエールを送りました



◆さくら学級 なかよし交歓会 精一杯力を発揮しました



◆給食試食会 多数のご参加ありがとうございました。

